

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公開番号】特開2011-165345(P2011-165345A)

【公開日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2011-034

【出願番号】特願2010-23477(P2010-23477)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/518 (2006.01)

H 0 5 K 9/00 (2006.01)

H 0 1 R 13/648 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/518

H 0 5 K 9/00 L

H 0 1 R 13/648

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月4日(2013.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板と、

前記基板に表面実装されたコネクタジャックと、

前記コネクタジャックおよび前記基板の補強部材と、を備え、

前記補強部材は、第1の補強部および第2の補強部を有し、

前記第1の補強部は、前記基板の前記コネクタジャックが実装される面の背面に接触し

、

前記第2の補強部は、前記コネクタジャックの天面を弾性的に付勢することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

前記第2の補強部は、前記コネクタジャックの天面のうち、前記コネクタジャックの信号線が前記基板に半田付けされる半田部の近傍を付勢することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記第1の補強部には、複数のビード部が形成され、

前記複数のビード部が前記基板の前記コネクタジャックが実装される面の背面に接触することを特徴とする請求項1又は2に記載の電子機器。

【請求項4】

基板と、

前記基板に表面実装された第1のコネクタジャックと、

前記基板の前記第1のコネクタジャックが実装される面と同じ面に表面実装された第2のコネクタジャックと、

前記第1のコネクタジャック、前記第2のコネクタジャックおよび前記基板の補強部材と、を備え、

前記補強部材は、第1の補強部、第2の補強部および第3の補強部を有し、

前記第1の補強部は、前記基板の前記第1のコネクタジャックおよび前記第2のコネクタジャックが実装される面の背面に接触し、

前記第2の補強部は、前記第1のコネクタジャックの天面を弾性的に付勢し、

前記第3の補強部は、前記第2のコネクタジャックの天面を弾性的に付勢することを特徴とする電子機器。

【請求項5】

前記補強部材は導電性を有し、グラウンドに接続されていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項6】

導電性を有し、グラウンドに接続されているシャーシを備え、

前記補強部材は、前記シャーシと電氣的に接続されていることを特徴とする請求項5に記載の電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために本発明は、基板と、前記基板に表面実装されたコネクタジャックと、前記コネクタジャックおよび前記基板の補強部材と、を備え、前記補強部材は、第1の補強部および第2の補強部を有し、前記第1の補強部は、前記基板の前記コネクタジャックが実装される面の背面に接触し、前記第2の補強部は、前記コネクタジャックの天面を弾性的に付勢することを特徴とする。